

平成 27 年 5 月 29 日

松山河川国道事務所調査第一課

「第 8 回広瀬霞自然観察会」を実施します

～広瀬霞自然再生事業のモニタリング～

松山市森松地区（重信川河口から約 10 km 左岸）において、広瀬霞の湿地再生事業完了後、約 7 年が経過しました。その状況に関係者が確認する第 8 回広瀬霞自然観察会を開催します。

松山市森松地区において、広瀬霞の湿地再生事業が平成 20 年 2 月に完成し、7 年が経過しています。池（湿地）の周りには植物も回復し、魚類・底生動物等の生物も数多く帰って来ています。また、その反面、オオカワヂシャ、ブルーギル、オオクチバス、ウシガエルなどの特定外来種も確認されるとともに、ツルヨシの繁茂、水質・流入ゴミなどの新たな課題も出てきました。

これらの状況を「地元関係者」、「重信川の自然をはぐくむ会（※）」等が、専門家とともに植物観察や魚類調査等により確認する第 8 回広瀬霞自然観察会を行い、その後、参加者による広瀬霞の保全活動を行います。

- 日時 : 平成 27 年 6 月 5 日（金）9 時～11 時 30 分（小雨決行）
- 場所 : 松山市森松町地先（別紙—1 の地図参照）
- 講師 : ・松山東雲短期大学 松井 宏光 名誉教授
・愛媛大学理学部 井上 幹生 准教授、畑 啓生 助教

※重信川の自然を取り戻そうと地域の大学、学生、NPO、行政の協力・連携を図るため平成 15 年 1 月に設立された団体。

※ 詳細については当事務所 HP（<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>）をご覧ください。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO. 1 人と文化を育む産学官連携プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先：四国地方整備局松山河川国道事務所調査第一課

副所長（河川）：松下 越夫（内線：204）

◎ 調査第一課長：中塚 光（内線：351）

代表 089-972-0034

直通 089-972-0612

FAX 089-972-6612

◎：主な問い合わせ先

広瀬霞自然再生事業

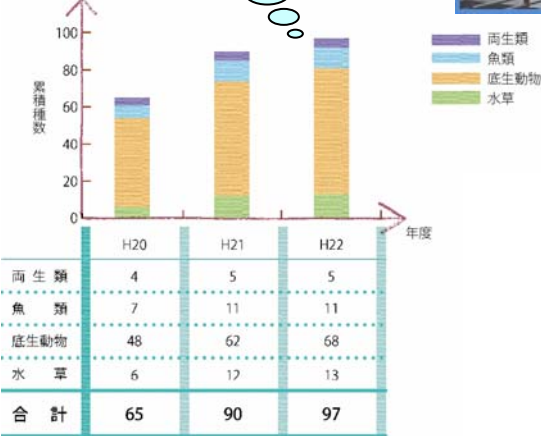
広瀬霞は、かつては湿地的な環境で、周辺は樹林に覆われていました。しかし、昭和 40 年頃より霞堤内は盛り土により湿地環境が喪失し、セイタカアワダチソウなどの外来植物が繁茂していました。また水質の悪化、ゴミの不法投棄の増加等により、かつての自然豊かな面影は見られなくなっていました。

そこで、失われた湿地環境の再生と治水機能の保全を図ることを目的とし、広瀬霞の湿地再生事業を平成 18 年 10 月に着手し、平成 20 年 2 月に完成しました。



完成後7年が経過し、湿地内の植生も回復。かなりの生物が戻ってきましたが、新たな問題（流入ゴミ、外来種、ツルヨシの繁茂）も発生しています。

生物の生息種数は年々増加



- 水域**
 - 両生類: イモリ, アマガエル, ヌマガエル, **ウナギ** など5種類
 - 魚類: **ブルーギル**, コイ, オイカワ, カラムシ, タカハヤ, オオシマドジョウ, **ツルヨシ**, **アサギ**, **ツルヨシ**, ヨシノボリ類など11種類
 - 底生動物: **スズメバネ**, **シロツメ**, モクスガニ, カゲロウ類, トンボの仲間 (リゾロンボ, キンヤヌなど) カワゲラ類, トビケラ類, シベコウロなど約10種類
 - 水草: **オランダガラシ**, **ホテイアオイ**, **キショウク**, **スズメノヒゲ**, **ツルヨシ**, **アサギ**, ガマなど13種類
- 陸域**
 - 昆虫: トンボの仲間 (アオモンイトトンボ, ミヤマカトンボ, シオカトンボ, マユタテアカネなど), ハテドロカマキリ, エンマコロギ, アオマツムシ, バッタの仲間 (オンバルタ, カラバタ, トノサマバッタなど), コクガタ, アメンボ, チョウの仲間 (ジャコウアゲハ, キチョウ, キタテハ) など約50種類
 - 植物: クサギ, **アサギ**, オオバタネツケバ (別名: テイルギ), クズ, マツヨイグサ, **アサギ**, **アサギ**, ジュズタマ, ツルヨシなど約200種類



重要種



特定外来種

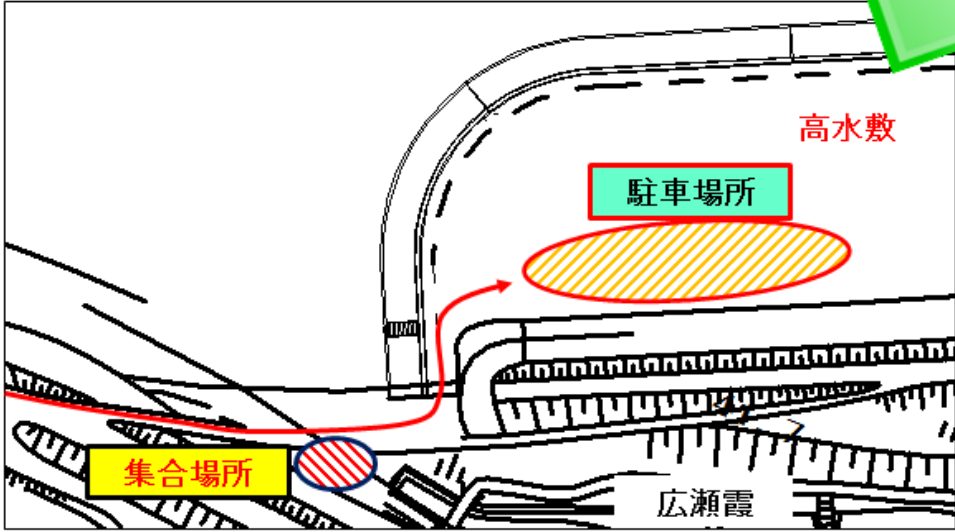
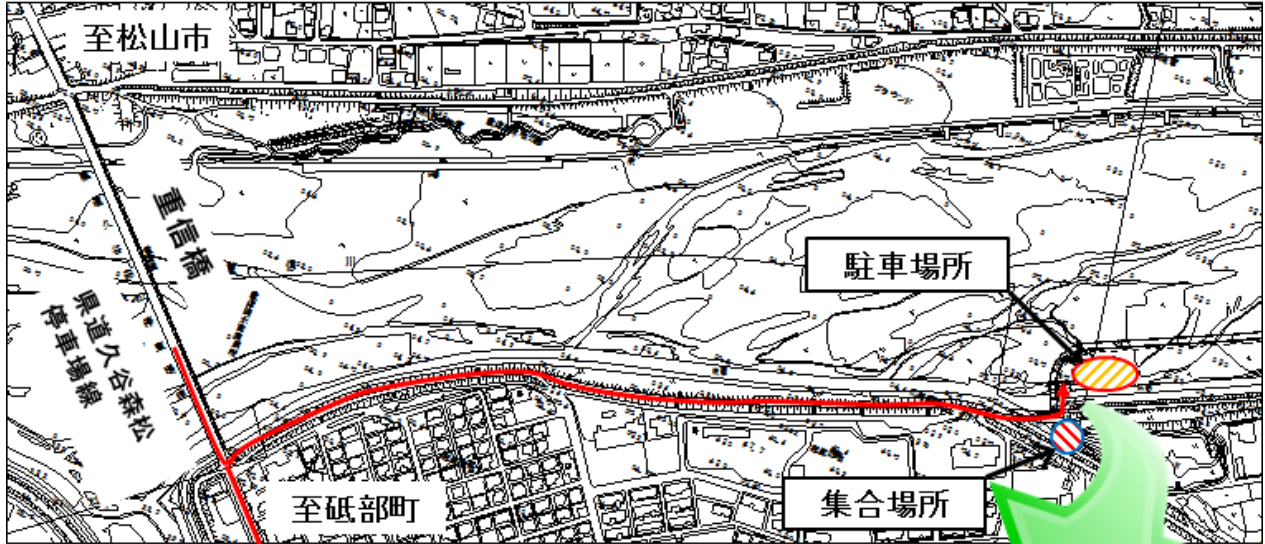
- 留意種**: 絶滅の危険性がある種など
- 特定外来種**: 外来生物のうち、特に生態系等への被害が認められるものとして、外来生物法によって特定された生物
- 留意外来種**: 外来生物法によって特定外来種には選定されていないが、生態系に悪い影響を及ぼす恐れのある生物

地域住民の方々を中心となり清掃等の維持管理を実施していますが、流入水路からのゴミ（刈草や野菜くず、藻類、ビニル袋、カン・ペットボトル等）が多く対応に苦慮しています。



刈草、野菜くず、ビニル袋等によりすぐに目詰まり

広瀬霞 自然観察会 会場案内図



平面図 出典：平成 23 年度重信川流域航空写真撮影外業務

第8回広瀬霞自然観察会

H27.6.5 9:00～11:30

会次第(案)

- ・開 会
- ・開会あいさつ
- ・帰ってきた動植物、外来生物のはなし
- ・植物等の観察会
- ・魚類調査
(特定外来種：ブラックバス、ブルーギル)
- ・除草・清掃
(ツルヨシやオランダガラシ等の除去含む)
- ・記念撮影
- ・閉会あいさつ
- ・閉 会

◆昨年度実施状況写真



開会状況



植物等の観察会 (松井名誉教授)



魚類等生物調査状況



清掃状況